

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル603号
電話 03-6256-8082



在京花巻人会

会長 瀬川 紘一



新年明けましておめでとございます。皆様には、健康でお幸せに新年を迎えられたこと心よりお慶びを申し上げます。又、日頃から在京花巻人会へ格別なご支援ご協力を頂いております事に改めて感謝申し上げますと共に、今年もよろしくお願い致します。

さて、天皇陛下のご退位が来年4月に予定されているので、今年平成30年は平成最後のフルの1年となります。来年始まる新しい年号のもと、日本は一体どのような国を目指すのか、今年私達もじっくり考えなければならぬ年になりそうです。去年10月の衆議院選挙では、今国が抱えている問題に対する答えをどの政治家の言葉からも読み取ることが出来ませんでした。世界的に資本主義と民主主義という二つの社会システムの基本的な矛盾が露呈する中、我々の認識をはるかに超えるグローバルイゼーションと急激な高齢化・人口減という問題を抱えた日本は、これからのような道を進むべきなのでしょうか。

まずは私達一人一人が、楽観主義や傍観主義を捨て、これらの問題を真正面から受けとめ、国の政策を見守りチェックしていくことが必要になると思います。日本の近現代史を見る、真の問題から目をそらす或いは敢えて忘却し、さらには解決を先送りし、挙句の果ては希望的観測を確たる

未来と信じてしまつ過ちを再び犯す訳にはいかなからです。

今一つ、これからの日本が進むべき方向を見出すヒントは地方にこそあると感じます。そこには、それぞれの地域の自然や風土、伝統や歴史に育まれてきた価値観や生き方があり、豊かな地域文化が培われています。そのような価値観や生き方をベースに、人と人との絆を大切にしたい社会システムの構築と、成長や効率を誇るのではない、安心安全で豊かな文化を前面に出す国の姿を描いてみる事が出来ると思っています。

私達のふる里は、私達を導いてくれる存在でもあり、かけがえのない大切なものであるとすれば、私達は今後どういった活動をしていくべきなのか。改めて在京花巻人会の存在意義について問い直し、新たな役割について考えてみたいと思います。



花巻市長 上田 東一



あけましておめでとございます。

ふるさから新春のお喜びを申し上げますとともに、日頃より在京花巻人会の皆様には格別のご支援ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

昨年、大迫・石鳥谷・東和の在京人会との合同企画として実施された「ふるさと復興支援ツアー」では、多くの皆様にご参加いただき、心温まるご支援に対し、重ねて御礼を申し上げます。本市は、多くの観光客をお迎えする観光都市として、豊富な資源を活用した交流人口の拡大に取り組んでいます。一方で、地方都市の課題である定住人口の減少は、花巻市においても重要な課題です。市民が安心して、いきいきと暮らせる

活力ある郷土を実現するため、平成29年3月に策定した花巻市まちづくり総合計画第2期中期プランにおいて、人口減少対策を重点戦略の一つとして位置づけ、今年度新たに定住推進課を設置して、移住・定住推進、空き家バンク、婚活支援、シニアプロモーションなどを推進しております。また、立地適正化計画に基づく総合花巻病院の旧厚生病院跡地への移転をはじめとした市街地再生のほか、予約応答型乗合交通の拡大などにより市内4つの中心市街地の活性化を図ってまいります。

一方、昨年は、元和3年(1617年)藩主南部利直公の命により、現在の大大迫地域の宿場が誕生してから記念すべき400年を迎えたことから、日本ワインフェスティバル花巻大迫、記念式典、記念講演、大名行列の開催

や、大迫あんどんまつりと青森県弘前ねぶたとの共演が行われ、好評を博しました。

在京花巻人会の皆様には、首都圏での情報発信、移住や交流に関する施策に積極的なご協力を賜っておりますこと、改めて感謝を申し上げます。今後とも、花巻市の一層の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。

本年も皆様にとつて健康やかで幸多き年となりますようお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

**平成30年度
「第33回在京花巻人のつどい」
のお知らせ**

日時：平成30年7月7日(土) 11時~14時
会場：東京ガーデンパレス
住所：東京都文京区湯島1-7-5
電話：03-3813-6211
アクセス：JR御茶ノ水駅 聖橋口

会員の活動報告コーナー

花巻イーハトーブ大使との 意見交換会に参加して

会長 瀬川 紘一

昨年9月28日(木)午後3時から日本教育会館において「花巻市の観光振興に関する花巻イーハトーブ大使との意見交換会」が、上田東一花巻市長ご参加のもと開催されました。

まず上田市長からご挨拶があり、市政のトピックスとして総合花巻病院の建設や被災者住宅の建設などの進捗状況についてのお話がありました。その後、意見交換に入る前に佐々木力弥商工観光部長から花巻市の観光関係主要施策等について説明がありました。

花巻市への観光客入込状況は、緩やかではあります。平成28年は2,227,000人と震災前(平成22年)を10%上回っています。特に外人観光客は平成28年で23,012人と前年比16.4%増ですが、全体から見ると1%しかなく外人観光客誘致も大きな課題なようです。

大使との意見交換は活発に行われましたが、特に台湾からの観光客誘致について古川大使から具体的な提案があり、有意義な意見交換会となりました。

意見交換会終了後の午後5時15分から同会館喜山倶楽部で懇親会が開催され、パルトンの古川さん、雨にも負けずを唄う

宇佐元さんから歌が披露されるなど、大いに盛り上がりました。

「在京大迫人の集い」に参加して

「在京大迫人の集い」 に参加して

理事 菊池美津子

去る10月21日、台風21号の影響であいにくの雨の中、神田神保町の日本教育会館において「在京大迫人の集い」が開催されました。

はじめに内村正明会長様から歓迎のご挨拶があり、続いて大迫総合支所藤田哲司様、並びに花巻市議会議長小原雅道様から岩手の近況報告がされました。

ところで、「大迫人の集い」は、今年で101回を迎えられたそう。昨年100周年を記念し、愛宕山に石碑を建てられたとのこと。先人たちの努力と郷土愛の賜物であろうと感無量でした。

第二部の懇親会では、「宿場町大迫400年記念」と称して収録されたDVDの上映があり、エーデルワイン様による「ワイン祭り」又、夏の風物詩「あんどん祭り」の山車と特別参加の「弘前ねぶた」とのコラボ等、本当に楽しい大迫の町の人々の様子が映し出されています。

感動のひと時を味わうことが出来ました。又、エーデルワインの藤館政義副社長様飛び入りで「あんどん祭りの音頭上げ」を謡っていただき見事な歌声に皆拍手喝采でした。

中締めは、岩手日報社東京支社長石杜有慎様と、在京石鳥谷町人会会長高橋



第39回 在京東和町友会の集い



在京東和町友会の 集いに参加して

理事 板垣 雅子

弘美様からのご祝辞があり、締め括りは私も恥ずかしながら赤い半纏を着て大迫音頭を踊らせていただきました。そして特別相談役菊池祐様から、感謝のお言葉をいただき閉会となりました。

と集いが開催されました。会場は花巻や在京の方など120名ほどのお客様を迎えとても賑やか。11時半、司会の千葉副会長の開会の言葉で始まり、蟹沢会長の天皇陛下が土沢にいらした時のエピソードを交えたご挨拶があり、28年度の報告も速やかに承認され、この後佐々木副市長・小原市議会議長様より来年取り組む予定の課題等々を挙げたお話がありました。アトラクションは金津流横浜獅子舞で、演舞の後、獅子頭を外した状態で再度会場に入り説明をして頂いたのですが、なんと演舞の半数が女性だったのには驚きました。「凄いぞ！女性パワー」です。

昨秋11月12日(日)寒いけれども良く晴れた朝、御茶ノ水の東京カールデンパレスに於いて第39回在京東和町友会の総会

歓談も食事も十分満足

したところで抽選会がありましたまた会場は一段と盛り上がったのですが、因みに私は東和町のお味噌が当たりました。

最後は全員で「ふるさととは今も変わらず」を、次には全員が手を繋いで「北国の春」を大合唱。鎌田副会長の閉会の言葉で終わりましたが、とても楽しい集いだったと思います。こうして振り返りますといずれの会もそれぞれ特色があり、会長さんや幹事さんたちの頑張りとおもてなしの心が見える様でした。



在京石鳥谷町人会に参加して

監事 照井 稔

昨年11月5日、上野精養軒で在京石鳥谷町人会総会・交流会が総勢164名を集め盛大に開催されました。在京花巻人会からも瀬川会長等5名がお祝いにはせ参じました。会の進行は11時30分から高橋弘美会長の挨拶に始まる総会議案の承認の後、多くの来賓を代表して花巻市亀澤健副市長、花巻市議会小原雅道議長の祝辞をいただき、親睦交流へと進んでいきました。

乾杯は瀬川絏一会長の音頭により声高らかに杯を挙げました。お酒好きにはたまらない地元の酒、南部酒やら七福神を飲むほどに酔うほどに会場のあちこちから故郷なまりが飛交う盛況ぶりでした。会場には料理と合わせて手作りのくるみ・ずんだ・ごま・あんころ餅が振舞われ、稲刈りを思い出しながら沢山ご馳走になりました。



アトラクションでは会員有志によるフラダンスの披露と早池峰岳神楽の流れをくむ大瀬川神楽をあの懐かしい笛、鉦、太鼓のリズムとともに披露いただき少し若返った気持ちになりました。

最後に記念写真撮影。ふるさと特産品抽選会は出席者全員に用意された心のこもったもてなしでした。閉会は15時を回っていました。次回は会の設立30周年を迎えるということで楽しみにしております。

第7回ふるさと復興支援ツアー 復興を担うとして



在京石鳥谷町人会

会長 高橋 弘美

2017年9月8〜10日、2泊3日の第7回ふるさと復興支援ツアーの進行担当は私ども在京石鳥谷町人会で、これで2回目の当番となりました。前回はふるさとの偉人「宮沢賢治」、「石川啄木」の足跡を歩む旅としました。これは内陸部にお金を落とすことでも、沿岸被災地に通常の経済ルートで需要が発生し支援につながる(ハズ)という一般的経済理論に沿ってのこと……(ホントか？(笑))

さてその2回目「こんどはどごさいべい」、「大迫、東和は歴史が長くて結構みるごごいっぺあつたな」、「んにしても石鳥谷はなんもねな」、という会話の中「やっぱ石鳥谷まづりだべ」、「んだ、

石鳥谷まづりにみな連れでべい!!」、となったのですが難問山積です。大きく二つ。①まつり開催中は必ず雨にたたられる。②ただ見に行ってもタイミングよく山車が通るとは限らない。ここで地元との人脈が厚い川村

三郎さん(現副会長)の登場です。雨対策のテント・椅子の手配と設営(撤去)、山車の運行調整などで大活躍です。もう一人、佐藤忠男さん(現副会長)はテント設営場所(栈敷席)や観光バス駐車場の確保に地元知己



の方との調整で大活躍です。またこの企画全般の調整や作業応援に総合支所地域振興課の方々が全面バックアップして下さいました。雨にたたられることを覚悟してのまつり観光だったので、当日はご挨拶に駆けつけて下さった上田市長さん

もびつくりするほどのカンカン照り。雨対策のテントが実はこのうえない日除けとなつて紫外線から参加者のお肌を守る事ができました(笑)。こうして今回のメインとなった石鳥谷まつり観光は実現しました。

ツアー全般については、石鳥谷が誇るプロツアーコンダクター(大竹副会長)の緻密な計画に沿って進行・ご案内ができたこと、そして参加者の皆さんの協力があったので大成功だったことを最後に申し添えます。ありがとうございました。

第7回 復興ツアー参加

副会長 高橋 良光
今年も天候に恵まれた9月8日(金)から10日(日)の2泊3日の復

興ツアー旅行。幹事は石鳥谷町人会で、バスは補助椅子も使うほどの53名の参加者で、一路花巻に向かつて出発!! 今回の観光メインは松島湾遊覧、石鳥谷まつり、石鳥谷町歴史資料館の見学です。

今回は常磐自動車道を使い北上、この復興ツアーで常磐道を使うのは初めてですが、昔新幹線の通る前、花巻への行き帰りは常磐線回りで、太平洋をゆっくり眺めながら汽車の旅を楽しんだものでした。東日本大震災後のは今は車は通ることができませんが、原発の被災に遭った地区では帰郷できない人も多く、田んぼ、畑には雑草が茂り、民家は人影や車もなく生活の跡もない状態の光景で、福島の太平洋側の復興には程遠く、まだまだ時間が必要と感じられる様子でした。

昼過ぎに松島に到着。日本三景の一つ松島湾の五大堂を見ながらの遊覧。震災の大津波で島の一部が崩れ落ちた場所もあったとのこと。



初日の宿泊は石巻市の北側にある南三陸町のホテル観洋。南三陸町といえば大震災の時に町役場の女性職員が放送で町民に避難勧告を呼びかけたが、その女性職員も含めて多くの人が亡くなったと全国的に話題になりました。

町の復興はまだまだの様でしたが泊まったホテルは全室太平洋を眺めるオーシャンビュー、また朝は太平洋から昇る太陽を見ながらの入浴は圧巻でよい思い出となりました。8時にホテルを出発、途中一関にある厳美溪に寄り「かつこうだんご」を食べました。昼食は花巻の金婚亭で紙の袴

をエプロンにして「わんこそば」をいただきましたが、初めて食べたという人も多かったです。昼からは石鳥谷町の祭りの見学、我々の行った2日目は3台の山車が商店街を練り歩いて歓迎してくれました。又、上田市長もわざわざ挨拶に来ていただきました。

2日目の宿は温泉ですが、秋は豊沢川の紅葉が美しくゆつくりと温泉に入れるホテルとのこと。

3日目は道の駅石鳥谷にある伝承館、資料館の見学と機織り体験、田んぼアートを高台から見学、昼食は子供の頃食べた「ひつつみ定食」。

昼食後は一路東京へ。途中混んでいた所もありましたが、8時頃東京に到着。

2泊とも宴会の後にはラオケタイム。飲んで歌って親交を深めたツアー旅行でした。

第19回ゴルフ大会

岩手県人連合会 盛大に開催

副会長 高橋千代吉
恒例の大会は10月4日



(水) 千葉県野田市の紫CCで開催されました。当日会場には未だ薄暗い早朝の6時前から多くの開催担当役員などが、受付や賞品の包装など慌ただしく準備が進められていました。競技参加者は173名で例年に勝る大盛況でした。70歳以上の参加者は全体の49%を占め例年より少し若返ったとのこと、最年少者は15歳女子、最高齢者は84歳男子でした。

1番スタートは7時、早朝は霧雨模様で冷え込みは厳しかったが、半袖のスポーツシャツ姿で颯爽とプレーに臨む若々しい元気な高齢者が目立ち頼もしく感じました。危ぶまれた天候も次第に晴れわたり、この上ないゴルフ日和となりました。3時頃からは順次プレーを終え4時前より二階大ホールに全員が揃い総会&懇親会が開催され、熊谷博ゴルフ同好会会長等の挨拶に続いて、今期より岩手県人連合会会長に就任された鈴木文彦様の挨拶は「多くの会員皆様の元気なエネルギーは、ふる里右手に勇気や希望を与えるものと確信します」と賞賛されました。総会を終え、お楽しみ成績発表で会場は悲喜こもごもの歓声でいっぱい。本大会開催幹事は第四ブロック(宮古・釜石・田野畑など7地区)なので参加賞は海の幸の詰め合わせで喜ばれました。在京花巻ふるさと会からは3名の寂しい参加に止まりましたが、ふる里の懐かしい雰囲気漂う大会は思わぬ意外な出合などもあり格別楽しいです。来年は第20回記念大会でもあり、多くのゴルフファアの皆様の参加を是非お勧めしたいと思っております。

《はなまき あれこれ》

花巻商工会議所創立70周年記念式典開催

去る10月18日(水)、花巻市文化会館大ホールに於いて花巻商工会議所主催による創立70周年記念式典が盛大に行われました。

当日は、素晴らしい晴天に恵まれるなか14時から第一部の記念式典が始まり、まず宮澤啓祐会頭のご挨拶があり、その後記念事業実行委員長の高橋豊副会頭がご挨拶されました。引き続き各界からの来賓の祝辞が続きました。その後感謝状と表彰状の贈呈



があり第一部は終了。宮澤会頭は、昭和22年9月10日にわずか会員195人をもって設立以来、歴代会頭をはじめ役員、議員、会員の多大な尽力によって、花巻の産業を振興させ、花巻市の発展に寄与してきた歴史を語り、参列者に感銘を与えました。

第二部の記念講演会は、15時40分ごろから佐藤良介副会頭の挨拶があり、引き続き財務省理財局国有財産企画課長の井口裕之氏(第51代花巻税務署長)より「日本の未来と花巻」と題した記念講演がありました。

第三部は祝賀会で、17時30分からホテルグランシエール花巻で開催、岩手県副知事の千葉茂樹氏、岩手商工会議所連合会会長の谷村邦久氏からの祝辞でスタート。鏡開きと乾杯と続き、大勢の出席者が集い賑やかな祝宴となりました。19時30分に佐々木博副会頭の閉会の挨拶で祝賀会の終了となりました。

(会長 瀬川 紘一)

花巻祭り賑やかに開催

今年の花巻祭りは9月8、9、10日の3日間に行われました。幸い、天候に恵まれ、会場周辺の100を超える露店も大賑わいでした。平成27年の祭り



で、同じ場所で同時に114基の神輿がパレードしたというギネスブックに記載された記録には及びませんでしたが、神輿は93団体、103基が参加しました。山車の方は去年と同じ12台の参加でした。山車の風流は歌舞伎や戦記物からと例年通りでしたが、見返しについては、最近の傾向として宮沢賢治にちなむ題材が目につくようになりました。今年は「銀河鉄道」「よだかの星」と「賢治の台川 七折の滝」の3つでした。

最終日の午後の花巻囃子のパレードは734名が参加と言うことで、お祭り広場の上町がグループごとの色とりどりの浴衣姿に埋め尽くされ、文字道り壮観でした。

(会員：花巻市在住：高橋 進)

花巻東、来春センバツ出場確実

第70回秋季東北地区高校野球大会は、4日目の10月17日福島県営あすま球場で準決勝が行われ、岩手県第1代表の花巻東が日大山形を6対4で下し、前身の花巻商以来44年ぶりの決勝進出を果たしました。来春の選抜高校野球大会は、第90回記念大会で東北の一般選考枠は2から3校に増えるため、花巻東は出場が確実視されています。花巻東が出場すれば6年ぶり3度目の甲子園出場となります。

決勝は18日、福島第1代表の聖光学院との戦いとなりました。花巻東が勝てば菊池雄星も大谷翔平も成し遂げられなかった初優勝、岩手県勢としても34年ぶりの制覇となる決勝で期待されましたが、惜し

くも6対4のスコアで敗れました。この試合、4点先行されながらも一度は同点に追いついたのですが、後半に2点を入れられ突き放された惜しい敗戦でした。試合巧者ぶりを見せた花巻東、甲子園での活躍が期待されます。(岩手日報より)



花巻博物館で「花巻城展」好評裏に終了

昨年9月16日(土)から11月12日(日)まで、花巻市博物館ではテーマ展「花巻城展」が開催されました。展示のご挨拶でも述べられていましたが、花巻の歴史や文化は花巻城とともにあったと言っても過言ではなく、多くの方々の関心を呼んだようです。

展示は、中世から近世へという流れの中で花巻城(かつては鳥谷崎城)の形成と存在について紹介しています。その中では、特に秀吉の奥羽仕置に際し浅野長政が登場、稗貫・和賀氏に代わって南部利直がこの地を拝領し、北氏を城代として配置したところから政治・経済・文化面で発展を遂げたことが良く理解できます。

花巻は、軍事的に重要な場所であったにとどまらず、豊かな穀倉地帯を抱え、北上川水運を活用できることから経済の要衝でもあったことから、沢山の

人々と文化が流入して栄えたことがうかがわれます。

又、多くの花巻城図、花巻城下図によって、花巻小学校の校庭のあたりが二の丸、昔の中学校の校庭を中心とした一帯が三の丸であったことが解ります。かつて自分が何の気なしに遊んでいた色々な場所が、花巻城の運営にとって重要な場所であったことに驚くとともに、しばし往時を偲びました。

(編集部)



「茶寮かだん」で賢治の花壇がよみがえる

花巻市花城町にある旧橋本家別邸が再生され、喫茶とランチメニューをそろえたカフェとして公開されています。宮澤賢治が設計した花壇はその敷地の南斜面にあり、南北約9m、東西約4m、高低差約1.1mに楕円や四角など幾何学模様がデザインされています。

この建物は、これまで非公開とされていましたが、花巻市在住の整体師、一ノ倉俊哉さんがオーナーとなって花壇の再生が始まり、2016年9月から公開されています。

花壇は、型にはまらぬデザインが特徴で、一ノ倉さんもどんな花を植えればよいか試行錯誤したとのことですが、今は季節ごとの旬の花で来場者を楽しませています。一方、建物は1928年に建てられた、和室の他洋室も備えた豪華な造りの邸宅で、柱や天井、建具にまで職人の技が光っている素晴らしい建造物です。

地元の人々はもちろんのこと、県外からの旅行者の評判が良く、「この雰囲気こそ、花巻らしさを感じ

る」と喜ばれているとのこと。帰省の折でも、一度訪ねてみられることをお勧めします。

住所：花巻市花城町11-12

電話：080-2823-1048

営業時間：10時～18時、

定休日：木曜日(但し定休日以外にも休業している場合があるので事前に電話確認がおすすめです。)

(花日和2017/9号より)



花巻の瀬川に鮭が上っている？

去年の10月の連休に花巻に帰省した折のことですが、瀬川が北上川に合流するあたりで、鮭が遡上する姿を見ることが出来ました。

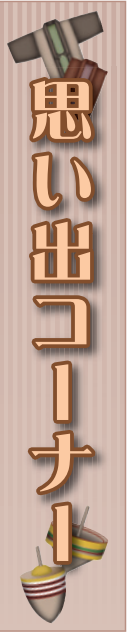
町の人が瀬川に鮭が上ってきているのが見られるよと教えてくれましたので、イギリス海岸の駐車場に車を停めて、瀬川の北上川の合流点に向かいました。途中で出会った人に、鮭は見られましたかと聞いたら「今日、鮭は上ってないみたいですよ」と応えてくれました。でも、天気は良いし時間も十分あったので、鮭は諦めて散策をするつもりで合流点に向かいました。

瀬川の北上川との合流点には、石伝いに川を渡れ

るように石が並べられており堰き止められています。そしてさらに奥には高い堰がありそこまでの20mぐらいはプールのようになっています。私達が川辺に近づいたとたんに、鮭が1匹並んだ石を飛び越してプールのようになった上流に上るのを見ることが出来ました。期待していなかっただけに大感激でした。

プール状になっている川には既にも上ってきた鮭が数匹泳いでおり、総勢4～5匹が川を行ったり来たりしていました。尾びれが削られたようにボロボロになっている鮭もいて、太平洋からの長旅が偲ばれました。

(会長 瀬川絢一)



花巻の空襲の爪痕



宮澤 信夫

(花中30年卒)

ところがこの頃の日本は制空権も制海権も全て米軍に奪われ東北の花巻にも警戒警報が出されるようになりました。

昭和十六年十二月八日に始まった太平洋戦争の初期はともかく、年を重ねる毎に敗色濃厚となり、昭和二十年には東京大空襲がくり返され、彫刻家であり詩人でもある高村光太郎先生も被害に遭われ、光太郎先生は宮沢賢治さんの友人であったので父政次郎さんが花巻のような田舎なら大丈夫だろうと考えて花巻への疎開を勧めました。賢治さんは十二年前に亡くなっておりましたが熱心な仏教信者であった政次郎さんは長男の大切な友人であることからの働きかけでした。高村光太郎先生は快諾され、豊沢町の宮澤家で暮らすことになりました。

その米国大艦隊は北上し、岩手三陸沖に現われ釜石製鉄所が艦砲射撃の標的となりました。そして八月十日東北本線の主要な駅及びその周辺は艦載機によりことごとく空爆を受けました。花巻も例外ではなく駅近傍及び町中も所々に爆弾が落ちてきました。私は当時小学校に入学する前年で、姉に付いて行動致しました。昼頃に空襲警報が鳴

り道一つ(へやっこ坂)を渡ってお堀の斜面下部に掘られた防空壕に逃げ込みました。その時突然花巻町役場の屋根すれすれに艦載機が飛んで来たので、目と耳を両手で塞ぎ事無きを得ました。周りにも被害はありませんでした。

この日は晴れた暑い真夏日でしたが空襲が収まった頃上町あたりで火の手が上がっているらしいと云うことで、南側に目を向けると煙が見えました。

防空壕を出て家に戻り二階の上つて上町、豊沢町の方を見ると、一面火の海になっておりました。豊沢町の宮澤さん一家、高村光太郎先生は延焼で焼け出されたが皆無事であることは後でわかりました。上町には大きな書店、洋品店、呉服屋さん、金物屋さん、食料品店、酒店等のお店がありました。したが、それらのお店もほとんど焼けてしまいました。後に父から聞いた話では、豊沢町宮澤家の庭が広がったので庭に防空壕を造ってあり貴重品と食料品を入れてあったそうです。この空

襲の延焼で店も居住家屋も焼け、防空壕の木製の扉にまで火がつき、水の備蓄が無かったので清六さんと協力して、醤油をかけて消化し何とか助かったらしいです。清六さんは兄賢治さんの遺言通り作品全てが入った「兄のトランク」を守り通すことができたと思われ

八月十五日の正午に我家の隣に朝日新聞の記者をなさっておられたハライカワ様の所に大人達が集まり太平洋戦争の終結を知らせる昭和天皇の玉音放送があったことを後で親から教わりました。

高村光太郎先生は、花巻での空襲に遭われたのにもかかわらず、花巻近くに住まわれることを決断され、太田山口小学校の隣に有った小さな空家が候補となり、村の方々が改修され、そちらに移られることになりました。その場所は高村光太郎記念館として現在も脈々と伝わっており

ます。花巻空襲で再び焼け出された時のことを表現した詩は次の通りです。

非常の時

高村 光太郎

非常の時

人安きをすてて人を救ふは難いかな

非常の時

人危うきを冒して人を護るは貴いかな

ただ為すべきを為すは美しいかな

非常の時

人斯くの如きを行ふに堪ふるは

偏に非常ならざるもの内にありて

人をして斯如きを行はしむるならざらんや

大なるかな

常時胸臆の裡にかくれたるもの

さかんなるかな

人心機微の間に潜みたるもの

其日爆撃と銃撃との数刻は

忽ち血と肉と骨との巷を現じて

岩手花巻の町為に傾く

病院の窓ごとごとく破れ

銃丸飛んで病舎を貫く

この時従容として血と肉と骨とを運び

此時自若として病めるものをまもるは

神にあらざるわれらが隣人

場を守つて動ぜざる職員

の諸士なり

われ此をきいて襟を正し

人間時に清く

弱きもの亦時に限りなく強きをおもひ

うちにかくれたるもの、高きを凝然としてたゞ仰ぎ見るなり

親睦
交流

第22回 歩こう会

東大駒場から東京ジャーミイを巡り下北沢へ

理事 松村扶恵子

11月18日(土)朝10時、京王井の頭線駒場東大前集合、総勢28名、ポチッと雨が落ちるも傘をさす事もなく東大キャンパスへ。まずは東大教養学部博物館を見学。豪華に色づいた銀杏並木を通り、建て替えられた元駒場寮跡で花巻人会員梅津興三さんの在学時代の懐かしいお話をお聞きし、正門前で皆様卒業生よろしく記念写真におさまりました!! 予想されていた雨にもあわず駒場野公園へ。「マア~桜が咲いてる!」と言いながら10月桜を見、「農学発祥の地ケルネル田んぼ」を見て、加賀前田利為公爵の邸宅・和館を拝見後、代々木上原駅へと歩きました。お昼ご飯を済ませ古賀政男音楽博物館へ。ボランティアさんの案内で館内を見学、一時間がアツと言う間でした。

雨が落ちてきた中、東京ジャーミイ・トルコ文化センターへ。見学に来ていた高校生100名と一緒にイスラム教の話聞いた後礼拝場へ。美しいモスクを拝見

し、礼拝を見学。タイムオーバーとなったが外は雨!ここで帰宅組の代々木上原方面とお疲れさん会の下北沢駅方面とに分かれ解散となりました。

皆様の普段の行いが良かった?のか大雨にもあわず今回も無事歩こう会は終了しました。皆様に感謝!!



29年度年会費納入のお願いと 納入状況の報告

会員の皆様には在京花巻人会の運営にご協力をいただきありがとうございます。お振込みいただいた年会費は、会員の親睦を兼ねて毎年7月上旬に行っております「在京花巻人のつどい」、又、年3回の「会報」の発行、年2回の「歩こう会」等に使用させていただいています。

今年度の年会費のお振込みがまだの方は、6月1日付・第51号会報送付の際に同封しました赤い振込票(手数料不要)で、近くの郵便局より下記口座へ3,000円をお振込み下さいませお願い致します。

記

□座名義 在京花巻人会
□座記号番号 00240-6-111794

29年度の年会費納入は、11月30日現在263名789,000円となっております。皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光 板垣雅子

新井薬師節分会の金津流獅子躍 を慰労する会

毎年会報でも報じているように、2月3日の節分には花巻市東和町から丹内金津流獅子躍が上京し、中野区の新井薬師梅照院で演舞を奉納したあと中野サンプラザ前で演舞を披露しています。

今年は、獅子躍のご一行をねぎらう意味で、在京花巻の各ふるさと会に声をかけて打ち上げ会を催すことを検討しています。午後の中野サンプラザ前での演舞終了後、一行は梅照院に戻りさらに演舞があり、その後梅照院で夕食を頂きます。各在京花巻ふるさと会からの参加者は、夕方梅照院での演舞を見学した後中野で夕食を取り、二次会場で打ち上げ会を開催、そこに獅子躍の一行が食事後加わる予定です。

今年の2月3日は土曜日、食事会場と二次会場の詳しい集合時間が決まりましたら、改めてメルマガその他でお知らせ致します。

在京花巻人会の 伊藤進理事ご逝去



伊藤進理事は、一昨年末病を得て療養に務めていましたが、昨年10月16日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しますと共に、ご家族には心よりお悔やみを申し上げます。

5年ほど前、60歳を過ぎたので何かふる里花巻の為になる活動をしたと在京花巻人会のドアをたたいてくれました。早速理事になって頂き、会にとっては若手の理事ですので、本当に力強く感じました。

現役で仕事を続けながらで、かなり厳しいこともあったかと思いますが、伊藤君らしくエネルギーが豊富に活動を支えてくれました。病を得てからも、回復したらもっと会に貢献したいと手紙で訴えてきていましたが、本当に残念だったろうと思います。

昨年9月の復興支援ツアーで皆と一緒に花巻に行きたいと言ってきましたが、残念ながらありませんでした。ただ、この時期ご家族と一緒に花巻祭りに見に行ったとのこと、誰よりもふる里花巻を愛した伊藤君を知る私達にとっては、心が救われる思いがしました。

ご冥福をお祈りいたします。

(在京花巻人会 会長 瀬川紘二)